

平成30年
4月15日
執行

鹿嶋市長選挙公報

鹿嶋市選挙管理委員会

1 歴史資料館白紙撤回

- 建設費18億円,年間維持費1億6千万円
- ① 未来の子どもたちに大きな負担を残すのはやめよう!
- ② 現市長は『作らない』とは言っていません。予算も計上されたまま。委員会が判断すれば建設する可能性を示しています。

2 市民活躍予算枠の導入

市民税の最大3%(約1億)を公的活動をしている団体に予算を割り当て皆様の活動を活性化させ、鹿嶋市全体の活性化につなげよう。

3 地域の課題・格差解消を

ハコモよりも雨水排水、通学路の安全確保、防犯強化、暮らしの安心安全対策を最優先

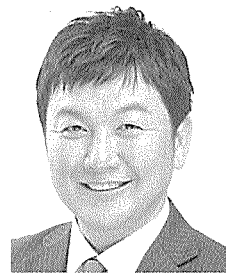
4 平井・下津海岸の戦略的整備

夏だけでなく年間を通して楽しめる海岸整備に全力で取り組みます。

- 5 私が鹿嶋の停滞感を打破します
- 東京へ通学できる体制へ
- 臨海鉄道の活用で公共交通再整備
- 農業・漁業振興プロジェクトの設立鹿嶋ブランドの確立
- まずは財政再建。増税・公共料金値上は絶対阻止

6 市長退職金1800万円を受け取りません

市長は4年の任期が終わるたびに、約1800万円の退職金が支給。2期やれば約3600万円財政が厳しいので、私は本当に支援を必要としている方々のために使いたいと思います。



ふるさとに 信成

のぶなり

活力あるまちを次世代につなぐ 5つの鹿嶋力!

これまで私は、ふるさと鹿嶋が直面する課題解決に真摯に取り組み、鹿嶋の発展と市民の皆様の幸せを願ってまい進してまいりました。そして、ふるさと鹿嶋を想う気持ちは誰にも負けません!

市民の皆さん、私と一緒に“未来ある鹿嶋”を創りましょう!!

1 教育力

すべての子どもたちが輝くまちづくり

- 教育環境の充実
- 幼児教育と就学前教育の充実
- 歴史郷土教育・英語教育の充実
- 放課後児童クラブや子ども教室の拡充

2 福祉力

誰もが住みやすい優しいまちづくり

- 子育て支援策の充実
- ライフステージに合わせた健康づくりの推進
- 医師確保並びに地域医療体制の充実
- 持続可能な公共交通ネットワークの充実

3 市民力

市民が主役になれるまちづくり

- 幅広い活動を支えるための市民団体へのサポート体制づくり
- 国体・オリンピックの成功に向けた「おもてなし」の態勢づくり
- 文化・芸術活動の推進

4 地域活力

地域資源をいかす活力あるまちづくり

- 農水産物・地域特産品で「鹿嶋ブランド」を確立
- 憩いの拠点「大野潮騒はまなす公園」のリニューアル
- 上下水道等の住環境整備の促進
- 海岸や斜面緑地等の豊かな自然の活用保全

5 未来創造力

次世代につなげる魅力あるまちづくり

- 観光拠点整備支援と新たな商業施設の誘致
- アントラーズホームタウン DMOの推進
- 高速道路の鹿嶋延伸への早期実現要望
- 地方創生の推進と近隣市との合併論議

にしきおり孝一のプロフィール



昭和44年 東京理科大学 卒業
 昭和60年 鹿嶋青年会議所理事長
 平成3年 鹿嶋町議会議員(3期)
 平成6年 鹿嶋町農業委員会委員
 平成14年 茨城県議会議員(3期)
 平成26年 鹿嶋市長 初当選



にしきおり孝一

NIKISHI KAKUICHI

※この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により縮小して印刷したものです。

投票日/4月15日(日)

午前7時から午後6時まで